

シルバーだより

あゆみ



No.64
令和6年7月発行

編集・発行／(公社)千葉市シルバー人材センター広報部 ☎ 043-265-0070

令和6年度 定時総会



千葉市生涯学習センター2階ホール

令和6年度定時総会を6月20日（木）に千葉市生涯学習センター2階ホールにて、開催しました。

議事では令和5年度の「事業報告」、「決算」、「監査報告」及び「役員（理事）の選任」など4件の議案について審議し、いずれも賛成多数で承認されたほか、令和6年度事業計画についてなど3件の報告を行いました。

理事長ご挨拶



理事長
稲生 勝義

会員の皆さまには、お一人おひとりが豊かな経験と知識を生かされ、お互いに協力し合いながら、暑い日も寒い日も、お仕事に取り組みおられますこと、心から感謝を申し上げ、敬意を表する次第でございます。

さて、千葉市においては、令和2年1月に1例目の患者が確認されて以降、累計感染者数が約25万人に上った新型コロナウイルス感染症は、当センターの運営等に対しても厳しい状況をもたらしましたが、昨年5月に感染症法上の位置づけが変更され、徐々に社会経済活動の正常化も進む一方で、不安・物価上昇の加速から暮らしへの影響も大きくなっております。

そのような令和5年度は、会員の皆さまのご協力をいただき策定した、計画期間を3年とする「第4次基本計画」の初年度として、4つの基本方針である「会員の増強」「就業機会の拡大」「安全・適正就業の推進」及び「事業推進体制の強化」を中心に取り組んでまいりました。

その結果としての昨年度の主な数値を一昨年と比較して申し上げますと、入会者数は94人増の508人、退会者数は80人増の403人、会員数は105人増の2,208人と、平成30年度以来5年ぶ

りの2,200人台となりました。
全契約金額は5千4百万円5.6%増の10億2千6百万円、全就業延人員は4千人日2.0%増の約20万8千人日となりました。

このような成果が得られましたことに、改めて会員の皆さまに厚く御礼申し上げます。

一方で、事故発生件数は、傷害事故が15件、賠償事故が6件、特に就業途上の傷害事故が一昨年度から5件増の7件となっていました。

さらに本年度は6月中旬までに傷害事故6件、賠償事故3件と増加傾向にあります。

原因は様々ではありますが、今一度「安全は、行動前の「一呼吸」を自らに言い聞かせ、また皆で声を掛け合いながらセンター全体として、事故は常につきますることを意識して参りたいと思います。

さて、本年度は、会員数について、基本計画の最終目標値を1年前倒し、令和7年3月末2,250人を目標とした上で、引き続き市民の皆さまや企業の方々等のご理解とご協力をいただきながら、コロナ禍からの回復の流れをさらに確実なものとするべく、入会促進や女性会員の拡大等を始めとした基本計画の4つの基本方針に基づく施策・事業を積極的に推進してまいります。

会員の皆さまが、豊かな経験と知識をそれぞれのお仕事の中で存分に発揮していただけますよう、役員・事務局職員一丸となり取り組んでまいりますので、会員の皆さまにおかれましては、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

結びとなりましたが、会員皆様方のますますのご健勝と更なるご活躍を祈念いたします。

市長ご挨拶



千葉市長
神谷 俊一

本日、ここに令和6年度定時総会が開催されますこと、心からお喜び申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より、福祉行政はもとより、市政各般にわたり、多大なるご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

本市におきましても少子高齢化が進む中、社会情勢の変化や高齢期の生き方の多様化などにより、高齢者の就業ニーズは益々高まっております。

貴センターにおいて、長年の課題でありました会員数や受注件数について、経営改善計画に沿った取り組みの強化により、それぞれ増加に転じ、また新しい事業を積極的に取り入れるなど、不断の取り組みに対し、深く敬意を表します。

このような状況にあつて、貴センターには高齢者へ多様な就業機会を提供いただいており、高齢者の健康の維持・増進や生きがいづくり、社会参加に寄与するなどと、今後、その重要性はより一層大きなものになると認識しております。

貴センターの今後の発展に大きく期待いたしますとともに、皆様の幅広いご活躍とますますのご隆盛を祈念いたします。

議長ご挨拶



千葉市議会 議長
石川 弘

公益社団法人千葉市シルバー人材センター令和6年度定時総会の開催を心よりお祝い申し上げます。

貴センターは、就業を通じて、高齢者の方々の健康維持や社会参加に大いに寄与されておりますとともに、地域社会の活性化、福祉の向上にも貢献していただいておりますことに、深く敬意を表する次第でございます。

また、会員の皆様におかれましては、ご自身の就業を通じて、地域発展や事業活動の推進にご尽力いただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、来年はいわゆる「2025年問題」の年、1947年から1949年生まれの「団塊の世代」と呼ばれる方々が75歳以上となる年です。千葉市の2024年4月の高齢化率は26.2%ですが、2025年には27.4%となる見込みであり、高齢者の方々が豊かな経験と知識を生かし、年齢に関係なく働き続けることができる「生涯現役社会」の実現が急務となっております。

貴センターにおかれましては、高齢者の方々が生きがいを感じながら、生涯現役として活躍していただける活力に満ちた地域社会づくりにお力添えいただきま



すよう願いたします。

また、会員の皆様におかれましては、健康で安全に就業していただき、引き続き、地域発展や事業活動の推進にお力添えいただけますと幸いです。

結びに、千葉市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と会員皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

総会次第

- 1 開 会
- 2 理事長あいさつ
- 3 表 彰
- 4 来 賓 祝 辞
- 5 定 足 数 報 告
- 6 議 長 選 出
- 7 議 案
- 8 議案第1号
令和5年度 事業報告について
議案第2号
令和5年度 決算について
監査報告
議案第3号
役員(理事)の選任について
議案第4号
公益社団法人千葉市シルバー人材センター役員等の報酬等及び費用に関する規程の一部改正について
- 9 報 告
- 10 報告事項1
令和6年度 事業計画について
報告事項2
令和6年度 収支予算について
報告事項3
令和6年度 資金調達及び設備投資の見込みについて
- 11 閉 会

表彰について

理事として活躍された方、職群班の班長・リーダーとして活躍された方、5名が表彰されました。

〈一般表彰〉

理事 佐久間 正敏

〈班長等表彰〉

会員 伊藤 英子

磯部 健次郎

高木 克己

阿久津 隆彬

(敬称略)

役員について

総会で新たに理事1名が選任されました。

新任理事

松浦 良恵

(敬称略)

退任された理事

佐久間 正敏

(敬称略)



封入班 伊藤 英子さん

会員紹介について

当センター会員としていきいきと活躍されている会員をご紹介します。
取材は坂本尚登会員にお願いしました。

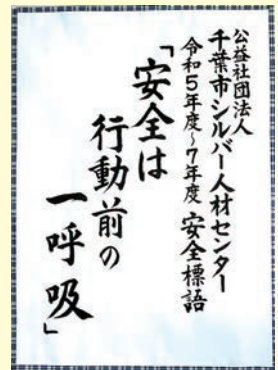
■プロが教える 賞状書き講習会

今回は、毛筆班の班長として筆耕の事に腕を振るう傍ら、賞状書き講習会の講師として後進の育成に情熱を燃やす鳥羽正子さんの働きぶりを紹介する。鳥羽さんは、本誌「あゆみ」の題字を担当されたほか、センター内に掲げられている安全標語「安全は行動前の一呼吸」も書いておられるので、来所の折には是非ご覧いただきたい。

毛筆班の班員は現在11名。毛筆班の仕事は賞状や卒業（園）証書の部分書き込みと全文書きなどがある。班員になるには、2日間開催され



鳥羽 正子 さん



センター内に掲げている安全標語

る賞状書き講習会に参加し、一定ランクの評価をもらう必要がある。まず、1日目にさまざまな種類の賞状に名前の書き込みを行う。

2日目は午前中の2時間で賞状の全書書きを体験する。多くの受講者は、2時間でこれまでの作業を終えることができなかったので、自宅に持ち帰って後日提出する。

鳥羽さんは、社会人になってからも職場（百貨店の宣伝部）で書家の指導の下に賞状書きの経験を積んだ。会社を辞めてからもその書家の下で師範の資格を取り、書道教室を開いて現在まで続いている。その傍ら、賞状等筆耕の依頼は絶えずあるものの、本人は納得のいかないものや、本人は納得のいかないものをずっと抱えていた。

千葉市シルバーに毛筆班が発足したのが平成8年。その数年後に鳥羽さんは入会した。ただ、その時、シルバー「人材」と謳う以上、自己流では駄目だろうと一念発起して東京の日本賞状技法士協会の教室に通い、

この世界の基礎を築いた前田篤信氏の書法を目標に5年間365日腕を磨いた。そして毎年開催される全国大会の最高賞である「前田賞」受賞で目標を達成した。

この実績を見ても鳥羽さんは賞状技法士のプロである。それでも「一枚書くのにも緊張するのですが、勉強したお陰で緊張感の後に大きな達成感を得られる」という。この経験から班員に対して「講習会で決まった課題を書いて終わりではなく、これを足がかりとして、よし、自分で勉強してやろうと、奮起してもらえば」と期待する。



毛筆講習会で講師を務める鳥羽さん

好きな言葉は「情熱にまさる能力なし」という鳥羽さん。毛筆班の発展にますますその情熱を傾けてください。



ご自宅での就業の様子



女性活躍推進について

5月24日（金）流山市シルバー人材センターへ女性活躍推進委員のメンバーで視察研修へ行きました。

流山市シルバー人材センターは平成31年に女性部会を立ち上げて以来、年4回の女性会報誌「オリーブだより」の発行をはじめ、女性部会の集いと称した様々なイベントを企画するなど、精力的に活動されています。

当日は部会立ち上げに関する質疑応答の他、流山市の空き家対策の一環として女性部会が運営を任されている、駒木ふれあいの家「オリーブ」も見学させていただきました。

今後は流山市の取り組みを参考に、千葉市でも女性部会立ち上げや、女性会員が心ときめく講習会を企画していきたいと思います。

流山市シルバー人材センターの皆様、ありがとうございました！！



手作り
チエブクロー



講習会で製作した小物たち



ふれあいの家「オリーブ」を見学中

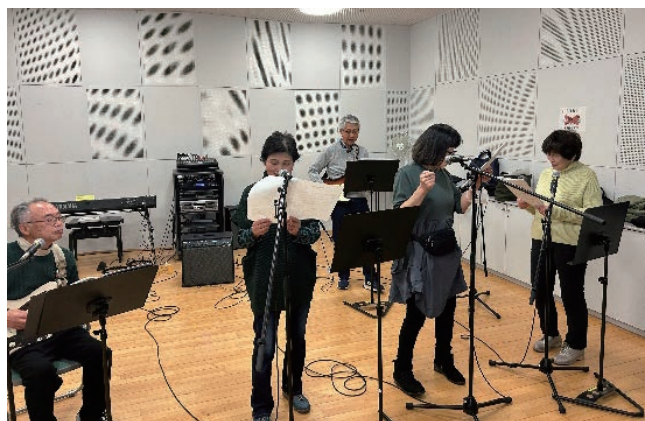
趣味サークル活動について

昨年度より「歌唱・演奏サークル」が発足し、現在月1回千葉市生涯学習センターにて活動しています。

サークル活動とは、会員自らが企画・運営している会です。

ギターなどの生演奏とともに、『真っ赤な太陽』などの曲目を練習しています。

「楽器を演奏したい！」「みんなと楽しく歌いたい！」など、少しでも興味のある方は、事務局までご連絡ください。一緒に楽しみましょう♪



各種講習会について

襖・障子張替え講習会

開催日 3月26日(火)・27日(水) 参加者11名

網戸張替え講習会

開催日 5月21日(火) 参加者14名

犢橋地域福祉交流館1階の犢橋作業所にて、襖・障子・網戸の張替え講習会を開催しました。多くの会員の方が参加し、熱心に取り組んでいました。講習会終了後、自宅の網戸を張り替えたいと話している様子が見られました。



襖・障子張替え講習



網戸張替え講習

刈払機講習会

開催日 4月23日(火) 参加者25名

千葉市南部浄化センターにて刈払機講習会を開催しました。昨年度後半の講習会は2度続けて雨天中止となった事もあり、天候の不安がありました。満を持して開催する運びとなりました。

講習会では刈払機使用時における安全就業の注意点や取り扱い方法について、講義及び、実習を行い知識を深めました。次回講習会は12月・3月を予定しています。刈払機を使用する方は必ず受講しましょう。



植木剪定講習会

開催日 5月22日(水) 参加者54名

千葉市南部浄化センター、衛生センターで開催した植木剪定講習会ですが、当日は天候に恵まれた事もあり、近年最多となる54名の会員が参加しました。

講習会では各区リーダーを中心に、マツの剪定方法や、ロープワーク講習を行いました。次回講習会は9月を予定しています。



会員の広場

土橋由和 会員

閑散と
主無き家の
雑草よ
シルバーを背に
八十路の右手



連日の
愚行の連鎖
我は又
テレビ相手に
文句タラタラ



「田植えの頃」



「お見合い」

早川武夫 会員



「露店の花屋」



「伊勢神宮の巫女様」



「飛べないフクロウのカカポ」

矢野裕子 会員



「吾輩は猫である」



「自分の一番好きな場所」



「アトリエの人」

宿松洋次 会員

60歳以上の皆様へ



会員募集集中!

少しの仕事で「やりがい」や「生活の張り」を手に入れませんか?

仲間がもっと欲しいです!

- ◆ 除草
- ◆ 植木剪定
- ◆ 襖・障子張り
- ◆ 家事援助サービス

- ◆ マンション・アパートの共有部清掃
- ◆ 自転車整理
- ◆ 介護
- ◆ ワンコインサービス (30分のお仕事)

などの「臨時的・短期的または軽易な業務」

あしがき

暑中お見舞い申し上げます。

今年もすでに暑さが厳しくなっておりますので、こまめな水分補給など体調管理には十分お気をつけください。

また会員の広場では、会員の皆様からの寄稿を募集しています。

絵をはじめ就業体験記や旅行体験、短歌や写真などご応募お待ちしております。

X (エックス) とFacebook (フェイスブック) をやっています。

日々の出来事などを随時更新しています。
ぜひご覧ください。

ホームページ



X



Facebook



表紙の題字「あゆみ」は、毛筆班 鳥羽正子 会員の書となります。